

皇居乾通りの概要について

○ 乾通り

乾通りは、乾門から宮内庁庁舎前に至る乾濠及び蓮池濠沿いの通りです。

この乾通りは、両側にもみじ、さくら、松を中心にさまざまな樹木が混植され、本丸側の石垣と濠、吹上御苑側の樹林を背景に、美しい景観を楽しめる並木道になっています。

坂下門から乾門までは約 750m あります。

○ 乾通り沿いの主な樹木

(1) もみじ類	計 70 本
・ イロハモミジ	36 本
・ トウカエデ	14 本
・ オオモミジ	6 本
・ モミジ (ベニシダレ)	6 本
・ その他 (モミジ(オオサカズキ), ノムラモミジ等)	8 本
(2) さくら類	計 103 本
・ ソメイヨシノ	43 本
・ サトザクラ	9 本
・ シダレザクラ系 (ベニシダレ, ヤエベニシダレ等)	9 本
・ ヤマザクラ系 (ヤマザクラ, オオヤマザクラ等)	16 本
・ ヒガンザクラ系	8 本
・ その他 (フユザクラ, カンヒザクラ等)	18 本
(3) アカマツ・クロマツ	計 53 本
(4) その他 (タブノキ・モッコク等)	計 48 本